

# 獨逸文學研究

報告第10號

1961

京都大學教養部獨逸語研究室

## 目次

リルケ最晩年の詩……………	高安國世(二)
——特にフランス語の詩をめぐって——	
「オペラ『マハゴニー』への註釈」の位置……………	野村修(三)
——討論のひとつの材料として——	
最近のトーマス・マン研究から……………	吉田次郎(六)
独逸語学覚書……………	古松貞一(20)
ドイツ語学最近の動向……………	塩谷饒(1)

## 獨逸文學研究

報告第10號（非売品）

1962年1月25日印刷

1962年1月31日發行

編集兼發行者

印刷者

京都大學教養部獨逸語研究室

代表者 吉田次郎

阿部幸一

京都市中京區丸太町通小川西入

株式会社 石田大成社印刷所